

主な理由

お客様がNVMe対応のDell PowerMaxを選ぶ理由

PowerMaxは、ミッションクリティカルなデータを保護するインテリジェントで革新的な信頼できるエンタープライズ ストレージであり、常に最新のストレージに迅速に移行できます。お客様がPowerMaxを選ぶ主な理由をご紹介します。是非お読みください。

1 | 画期的な効率性

PowerMax は、効率性を最適化し、厳格なサステナビリティ目標を達成するために設計された、業界で最もエネルギー効率の高いミッションクリティカル ストレージ¹です。最新モデルは、40U ラック内のすべてのコンポーネント（ストレージ、スイッチ、サーバー）について、実際の使用状況に基づき、電力、電圧、電流、周波数、温度、湿度を追跡して、消費電力と環境をリアルタイムで監視し、アラートを通知します。動的データ移動により、お客様はワークロードを別のアレイに再配置して、複数の拠点にわたりリソース使用率を最大化することができます。また、PowerMax は、最新のインライン データ重複排除および圧縮テクノロジーにより、オープン システムでは [5:1 のデータ削減](#)²、メインフレーム ストレージでは 3:1 のデータ削減³（業界初）を保証しています。最新モデルは、ワットあたり最大 2.8 倍のパフォーマンス⁴を備え、電力コストを 207,000 ドル節約し⁵、以前のアレイと比較して温室効果ガスを最大 82%削減します⁶。

2 | 業界をリードするサイバーセキュリティ

PowerMax は、[卓越したサイバー レジリエンス](#)を備えています。世界最高水準の安全性を誇るミッションクリティカル ストレージ⁷であり、「ゼロトラスト」の導入を加速するように設計され⁸、潜在的なあらゆるデータ侵害から重要な情報を保護します。ハードウェア ルート オブ トラスト（セキュア ブート）、安全なアクセス制御、改ざん防止監査ログなどのセキュリティ機能が組み込まれています。業界初のメインフレーム システム向けサイバー侵入検出(zCID)機能⁹は、データのワーキング セット サイズを継続的に監視し、悪意のあるアクティビティによって生じた可能性のある異常を検出して、ストレージ担当者にアラートを通知します。PowerMax は、米国 DoD 認定製品リストに登録されています。STIG コンプライアンスに準拠し、TLS 1.3 をサポートし、攻撃発生時に使用される高度なサイバー リカバリー ヴォルトを備えています。さらに、ポリシーベースの安全で不変のスナップショットをサポートし、有効期限前の偶発的または悪意のある削除を防止します。

3 | インテリジェント ストレージのオートメーション

[PowerMax](#) なら、IT 運用をシンプルにする次世代のオートメーションにより、ビジネス成果をより短期間で得ることができます。予測分析とパターン認識を使用して管理オーバーヘッドなしでパフォーマンスを最大限に向上させる組み込みの機械学習エンジンによって、各システムで自律型ストレージを実現します。新たに追加された、予測分析を使用する AI 主導の自律型ヘルス チェックは、潜在的な最適化の機会を特定し、対応処置を提案します。時間と負担を大幅に削減するシンプルな REST API を使用することで、オープン システムとメインフレーム ワークロード用の自動化されたストレージ プロビジョニングを実現しています。また、[ストレージ リソース オートメーション](#)用のソフトウェアデファインド NVMe/TCP ユーティリティを使用すると、ネットワーク ストレージの運用をさらにシンプルにすることができます。

4 | DevOps/コンテナの統合

PowerMax では、主要な DevOps とオープン管理フレームワークの広範なエコシステムを統合することで、アプリケーション開発を効率化するとともに、ストレージワークフローを自動化できます。また、vSphere のストレージ管理とプロビジョニング、VAAI、VASA、ネイティブな vVols サポートといった、VMware の管理と運用の機能を包括的に統合可能です。PowerMax ユーザーは、コンテナ化と DevOps に CSI、Kubernetes、Ansible、vRealize Operations などのプラグインを利用できます。

5 | ミッションクリティカルなデータの可用性

PowerMax は、ミッションクリティカルな可用性の基準を定める存在となっています。厳格な BC/DR 要件に準拠する実績のあるアクティブ/アクティブのデータセンターレプリケーション、6 秒以内で中断なしに実施される PowerMaxOS アップグレード¹⁰、継続的なデータ整合性チェックのいずれにおいても、PowerMax は、ミッションクリティカルなアプリケーションに対して極めて優れたデータ可用性を提供します。また、ミッションクリティカルな VMware 仮想環境では、最高レベルのデータ可用性をもたらす SRDF/Metro 3 サイトレプリケーションを導入できるようになりました。

6 | 耐久性の高いメインフレームストレージ

PowerMax のメインフレーム接続は、メインフレームストレージで使用可能な最速のデータ転送プロトコルである 32Gb FICON と IBM zHyperLink に対応しています¹¹。Dell の Future-Proof プログラムを基盤とする 3:1 のデータ圧縮により、最大 10 ペタバイトの実効メインフレーム容量を確保できます。業界をリードするサイバーセキュリティでは、メインフレーム向けサイバー侵入検出(zCID)機能が新たに搭載され、仮想と物理の両方のメインフレームサイバーヴォールトが可能になりました。いつでも統合できるため、メインフレームとオープンシステムの容量をオンデマンドで割り当てることができ、ストレージフットプリントの効率性とサステナビリティが向上します。また、PowerMax の信頼性は、30 年以上にわたるメインフレームストレージの専門技術とサポートが基盤となっています。

7 | 革新的なストレージテクノロジー

PowerMax には、30 年以上にわたってストレージ業界を変革してきた 1,000 件を超える特許技術があります。最新の PowerMax アーキテクチャは、NVMe (TCP および Fibre) を活用してエンタープライズストレージの拡張性、可用性、信頼性、パフォーマンスを最大限に引き出し、モダンデジタルトランスフォーメーションを加速します。

8 | ストレージ アズ ア サービスによるコストパフォーマンスに優れた俊敏性

PowerMax で [APEX Flex on Demand](#) をご利用いただくと、当社がお客様と協力し、時間の経過とともに増減するお客様のワークロードに合わせて適切な容量を柔軟にご提供します。使った分のテクノロジーのみに対して支払いながら、PowerMax のバッファーの容量が必要になった場合はすぐにアクセスできます。支払金額は、実際の使用量に応じて増減が調整されます。PowerMax の拡張性とサイバーレジリエンス、APEX Flex on Demand の俊敏性と柔軟性のどちらのメリットも活かすことができます。

9 | 常に最新のストレージ

Dell の [Future-Proof プログラム](#) は、ストレージの購入に対する不安を解消します。PowerMax をご購入いただくと、3 年間の満足度保証、ハードウェア投資保護、5:1 のデータ削減保証が得られます。これまでのイノベーションの積み重ねにより、わずか 6 秒で中断なしに PowerMaxOS ソフトウェアをアップデートすることが可能になりました。これにより、企業はコストのかかる複雑なデータ移行手順を行うことなく、新しいイノベーションを簡単に導入できます。

10 | エキスパートによる支援

Dell のコンサルティング サービス エキスパートは、ビジネスのニーズと IT のニーズのバランスを取るために何が必要かを理解しています。当社の成果重視のアプローチにより、クラウド プラットフォーム、ワークフォース エクスペリエンス、高度なアプリケーションを提供し、耐久性のあるビジネスを確立する能力を高めることができます。Dell Technologies [ProConsult Advisory Services](#) は、有益で持続可能な変化に向けた計画を促進します。当社のサービスは、6 週間以内にお客様のビジョンに沿った目に見える成果を達成できる戦略を策定し、実施するように設計されています。

脚注：

- 1 Dell PowerMax の電力消費量に影響を与える、公開されている製品仕様および機能と、8PBe で動作するオープン システムとメインフレーム ストレージをサポートする競合他社のメインストリーム アレイを比較した、Dell の分析（2023 年 6 月）に基づきます。
- 2 オープン システム ストレージ向けの PowerMax データ削減ツール（重複排除とデータ圧縮）に基づいて 5:1 のデータ削減保証を提供している Dell の Future-Proof プログラム（2023 年 8 月）に基づきます。実際のデータ削減率は異なる場合があります。
- 3 メインフレーム ストレージ向けの PowerMax データ削減ツール（重複排除とデータ圧縮）に基づいて 3:1 のデータ削減保証を提供している Dell の Future-Proof プログラム（2023 年 4 月）に基づきます。実際のデータ削減率は異なる場合があります。
- 4 8K ランダム書き込みワークロードを使用した PowerMax 2500 と PowerMax 2000 のワットあたりの IOPS を比較した、Dell の社内テスト（2023 年 8 月）に基づきます。
- 5 5 年間にわたり、8PBe (5kW) で PowerMax 2500 を運用した場合と、8PBe (27.5kW) で PowerMax 2000 6 台を運用した場合について、1kWh あたり 0.21 ドル（2023 年 4 月米国 EIA レポート、カリフォルニア州業務用料金）で計算した総電力コストの削減に関する Dell の社内分析（2023 年 7 月）に基づきます。実際のコスト削減額は状況によって変化します。
- 6 5 年間にわたり、8PBe (5kW) で PowerMax 2500 を運用した場合と 8PBe (27.5kW) で PowerMax 2000 6 台を運用した場合の総 CO2 排出量に関する Dell の社内分析（2023 年 7 月）に基づきます。
- 7 Dell PowerMax のサイバーセキュリティ機能と、オープン システムおよびメインフレーム ストレージをサポートする競合他社のメインストリーム アレイのサイバーセキュリティ機能を比較した、Dell の社内分析（2023 年 4 月）に基づきます。
- 8 Dell のゼロトラスト アーキテクチャの 7 つの柱と Dell PowerMax のサイバーセキュリティ機能を比較した Dell の社内分析（2023 年 4 月）に基づきます。
- 9 メインフレーム ストレージ向けの PowerMax 2500/8500 サイバー侵入検出機能とメインストリーム メインフレーム製品を比較した Dell の社内分析（2023 年 8 月）に基づきます。
- 10 中断なしで PowerMaxOS ソフトウェアをアップグレードするのに要した時間 (PowerMax 2500/8500) を測定した Dell の社内分析（2023 年 4 月）に基づきます。
- 11 zHyperLink 読み取り。



Dell PowerMax ソリューションの詳細情報



Dell の専門スタッフへの



他のリソースを [表示](#)



#PowerMax の会話に参加する